

肌肉贱奴王勇

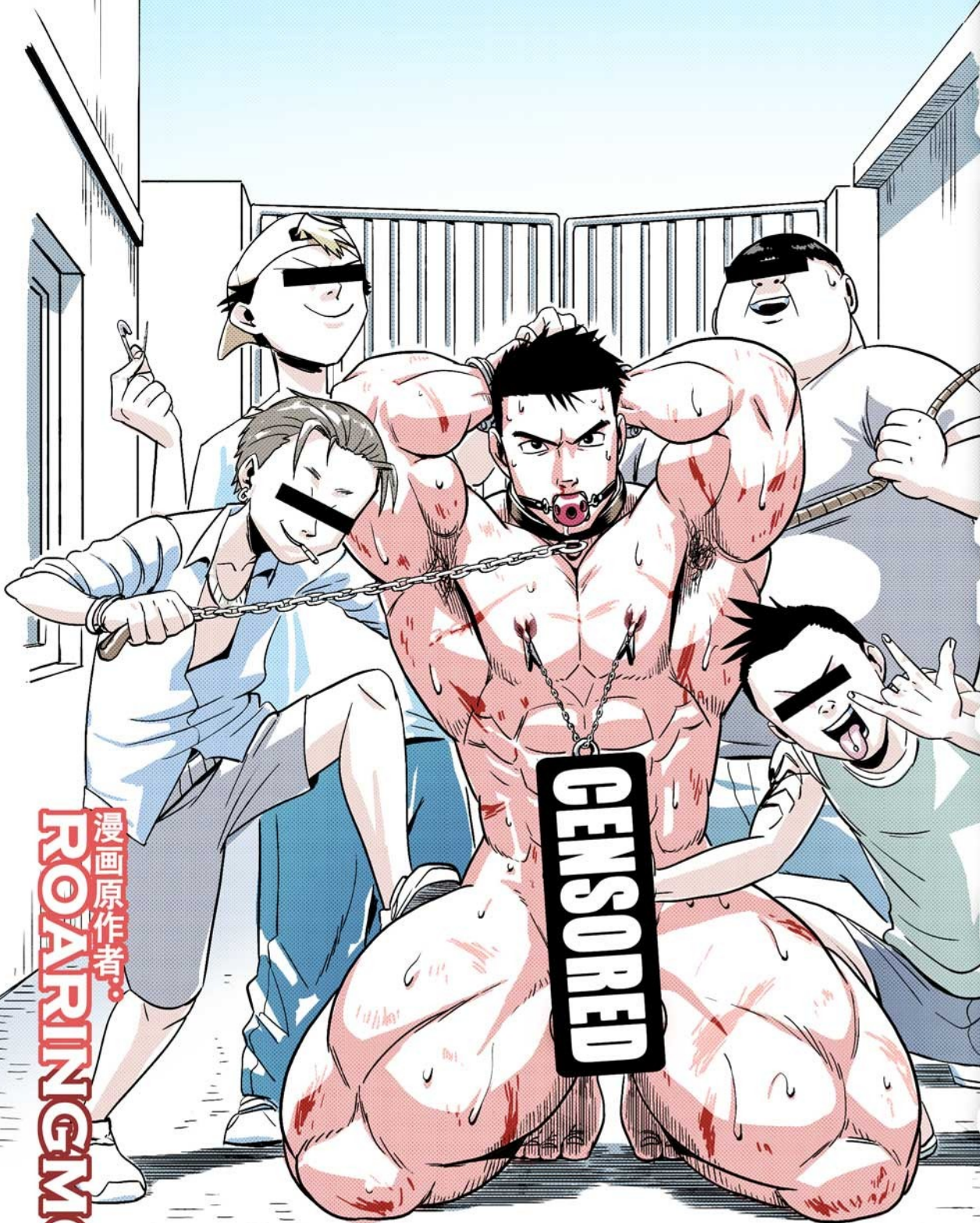
● 学生调教篇

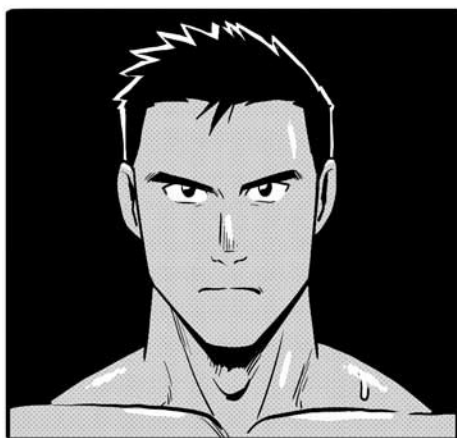
“僕は筋肉畜生野郎です。すっごくムラムラ
して、●学生四人を誘って調教します”
有名なエロ小説が漫画化!!!
全65P 中文/日本語/English公式翻訳あり

原作小説：《肌肉贱奴王勇被四个●中生虐玩》

漫画原作者：
ROARINGMOON

R-18
ADULT
ONLY





名前	王勇	身長 (cm)	190
奴隷名	筋肉奴隷王勇	体重 (kg)	110
誕生日	1988年5月9日	本籍 (任意記入)	山东
ちんこ長さ/太さ (cm)	22/6.4	乳首直径 (cm)	0.8
胸囲 (cm)	132.3	腰囲 (cm)	78.0
臀囲 (cm)	128.5	上腕回り (cm)	48

SM項目調査表

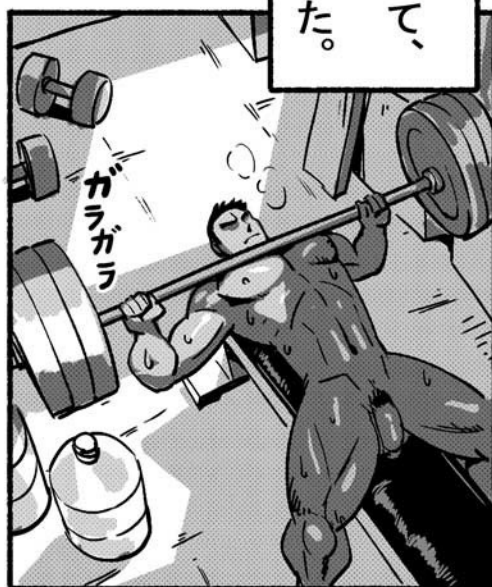
タイプ	項目	受け入れレベル	実践情况	タイプ	項目	受け入れレベル	実践情况
性奴隷	レイプ	SSS	Y	刑奴	平手打ち	SSS	Y
	フェラ	SSS	Y		人体サンドバッグ	SSS	Y
	射精エッジング	SSS	Y		鞭打ち	SSS	Y
	強制オーナニ/射精	SS	Y		尻叩き	SS	Y
	尿道責め	SSS	Y		吊り責め (長時間)	SSS	Y
	アナル拡張	SSS	Y		窒息責め/水責め	SSS	Y
	フィスティング	SSS	Y		乳首クリップ	SSS	Y
犬奴隷	犬ポーズ	SSS	Y		乳首ピアス	SS	Y
	犬用ケージ	SSS	Y		ボールストレッチャー	SSS	Y
	足舐め	SSS	Y		金玉潰し	SSS	Y
	踏みつけ	SSS	Y		ちんこ鞭打ち	SSS	Y
	顔面騎乗	SSS	Y		ちんこ踏みつけ	SSS	Y
フェチ	首輪と手錠	SSS	Y		くすぐり	S	Y
	バンテージ	SSS	Y		電気責め	SS	Y
	目隠し	SSS	Y		蠟燭責め	SSS	Y
	口枷	SS	Y		焼き印 (体)	SSS	Y
	貞操帯 (長期)	SS	Y 三个月		焼き印 (顔)	W	N
	監禁 (長期)	SS	Y 一年		入れ墨	Q	N
	浣腸 (刺激液体)	SS	Y 辣椒水		強制労力	SSS	Y
	写真/ビデオ (顔出しなし)	SSS	Y		跪く (長時間)	SS	Y
	写真/ビデオ (顔出しあり)	N	Y 現在不	穿环	乳首ピアス (環)	SSS	Y 摘了
	体に字を書く	SSS	Y		亀頭ピアス (PA)	SSS	Y 摘了
露出	野外調教	SSS	Y	厕奴	飲尿	SS	Y
	公共の場で調教	SS	Y		ゴールデンシャワ	SSS	Y

受け入れレベル: SSS-大好き/趣味; SS-好き; S気にしない, きらいではない/拒否しない; Q嫌いだが望むならできる; W-未知, 不確実、開発待ち; N-絶対にしない
備考: 1. Y-実践したことがあう; 2. N-実践したことがない





毎日、
筋肉を鍛えて、
怪我も、
すぐに治った。



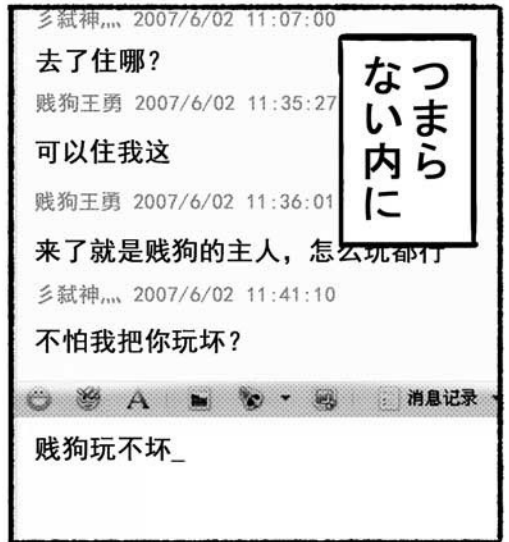
僕の名前は
王勇です。

牛兄貴の建設チームが
解散した後、
俺はまた、
ひとりになりました。



俺はまた、
ムラムラ
になった...

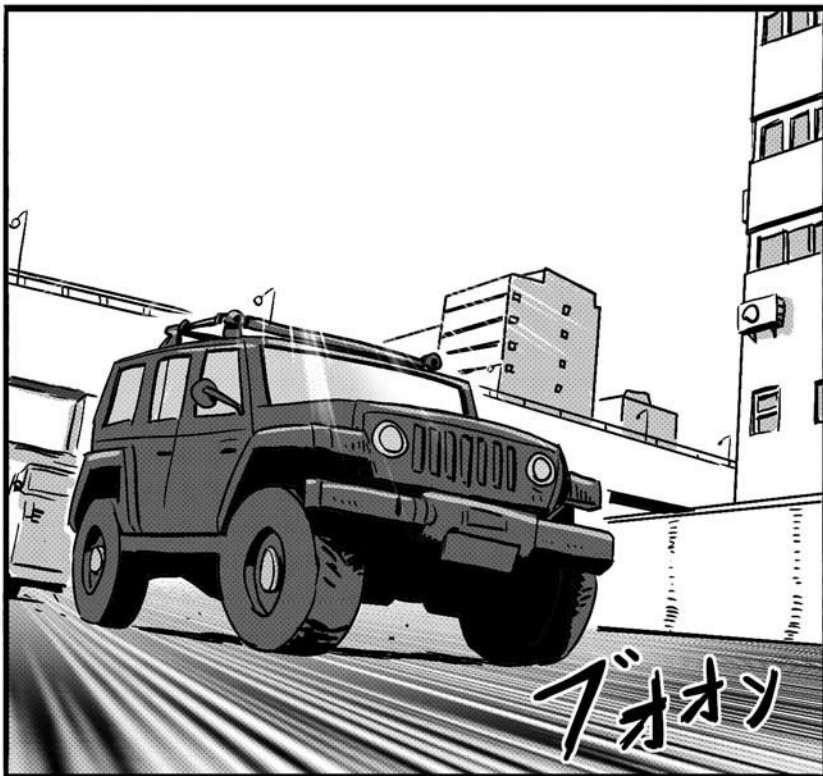
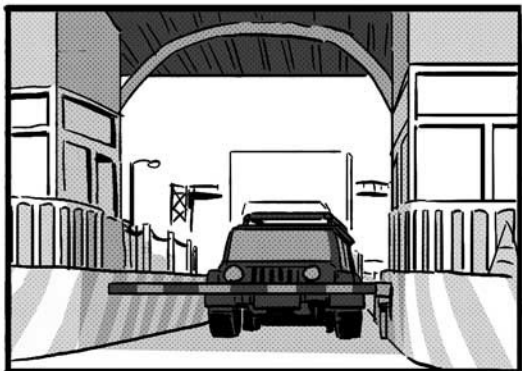


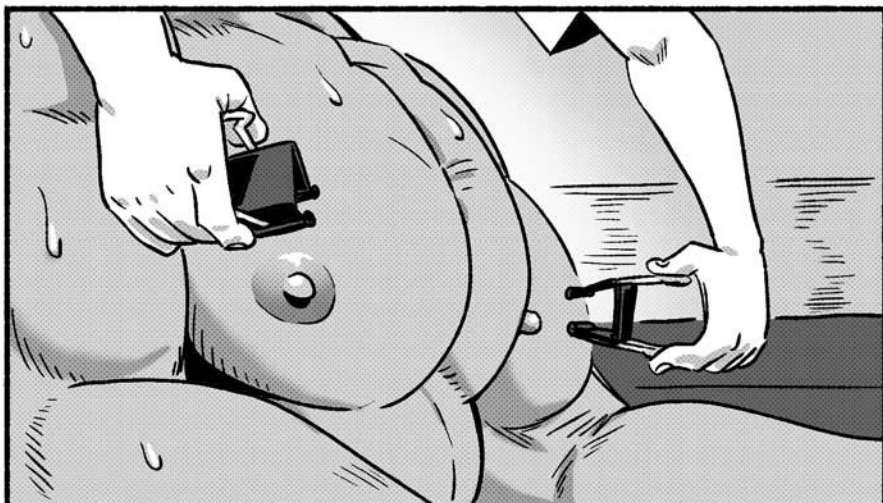








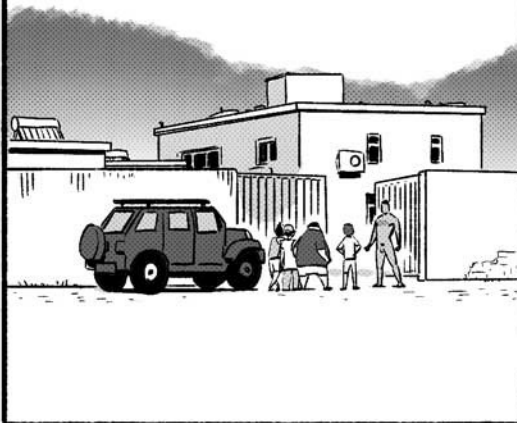




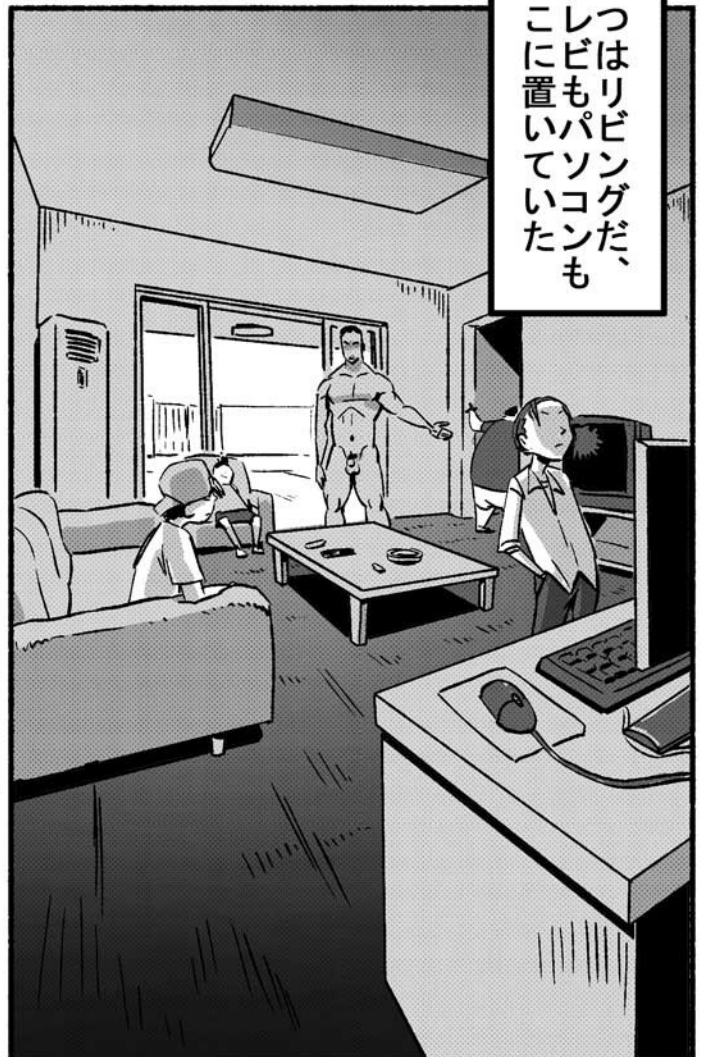
幸いのことに、
俺の住処に
着くのに
そう時間は
かからなかつた



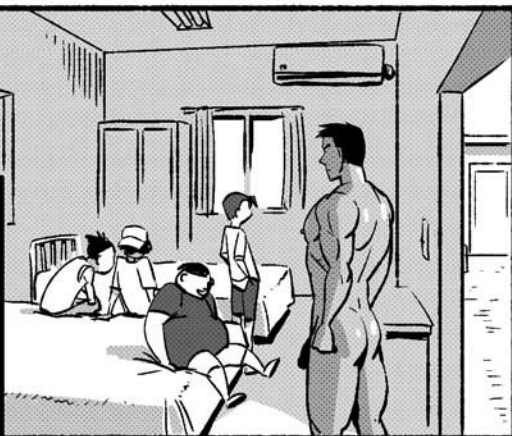
場所は郊外にある、
小さな庭付きの
四部屋の家だ
人通りも少ない



一つはリビングだ、
テレビもパソコンも
ここに置いていた



ほか二部屋は
寝室とジムだ



そして最後が
駄部屋だ





ほかの服と靴下も
かパツや靴下も
何も着ない

寝るときは
一枚の板の上



心を磨くため
仕事を辞めた
持っている服は、
迷彩柄の数着と
ボロボロのタンク
トップだけだ



夏は裸

冬は迷彩
スーツを
重ねて着る



エアコンも
布団も枕も
なにもない



こいつらが誘いを応じて、
急いでベットや日用品を
注文した、
エアコンを含めてだ

こ無下には
できない



奴らがご飯を
食べるとこの庭で
俺はご飯を
ひたまずいて



家に付くとすぐ、
ご飯を作
つてあげた

食べ終わった後
余ったのを
片付けて
食べようと
したとき！

犬なら犬らしく

俺らの糞と
小便でも
食って見せろよ

かしこまりました
どうか恵んで下さい

俺は便器に
寄りかかって、
素手で糞を
掴んで食べた

それから
三日間も！
そうして来た

手洗って、
うがいをした後、
俺はこいつらを
騾ベアに連れた…



騾ベアには…吊るし台、
老虎凳、足枷、手錠…
様々な騾道具が
置いていた

他にもこいつらには
まだわからない
ものもある

尿道プラグ、
アナルプラグ、
ニップルクランプ…



一人ひとり
使え方を
教えた

ガラガラ

ガラガラ

ガラガラ

そして
ようやく
始まる！

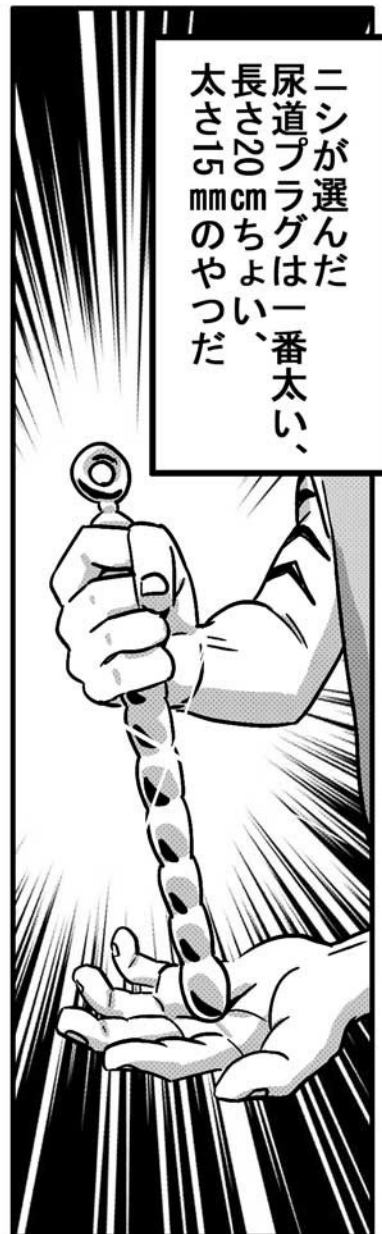




普段も
自分で
尿道プラグを
使うが…

この太い方は…
自分で使うには…
あまり度胸がない、
せいぜい5cmの
が限界だ

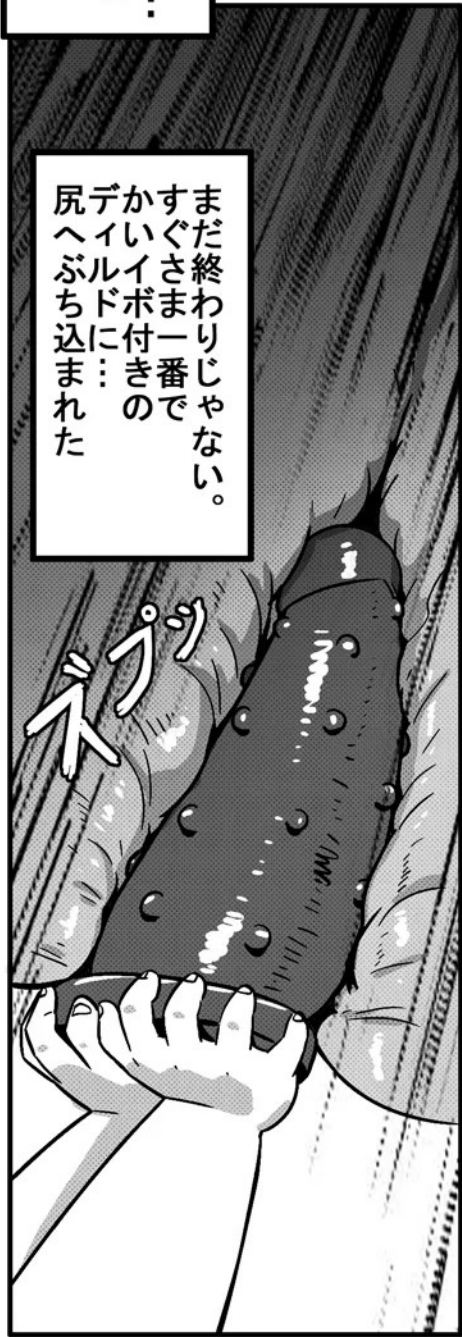
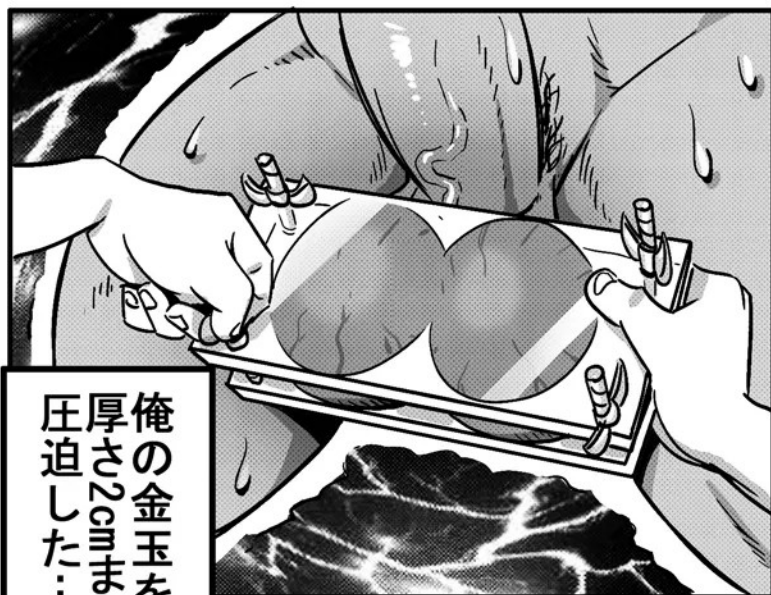
ニシが選んだ
尿道プラグは一番太い、
長さ20cmちよい、
太さ5mmのやつだ



うぐっ!



そして…
ニシは直接、
無理やり、
入らなくまで中に
ねじ込んだ!



鞭も見つけて、
容赦なくそれを
振り始め！

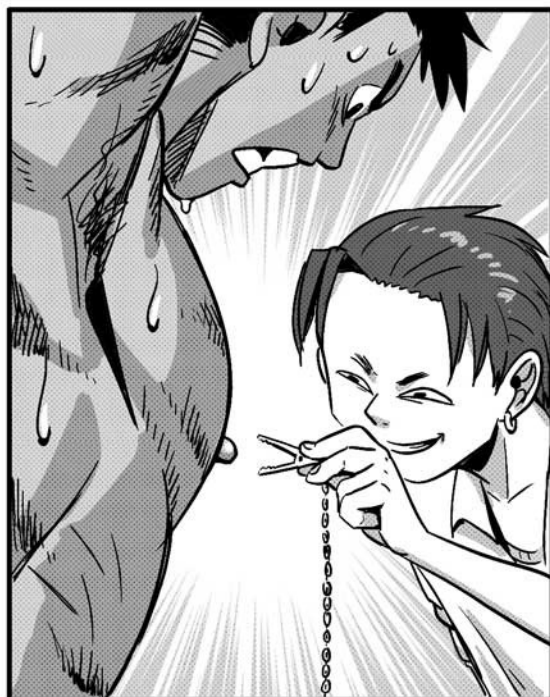


全身あつと
いう間に！
青あざだらけ

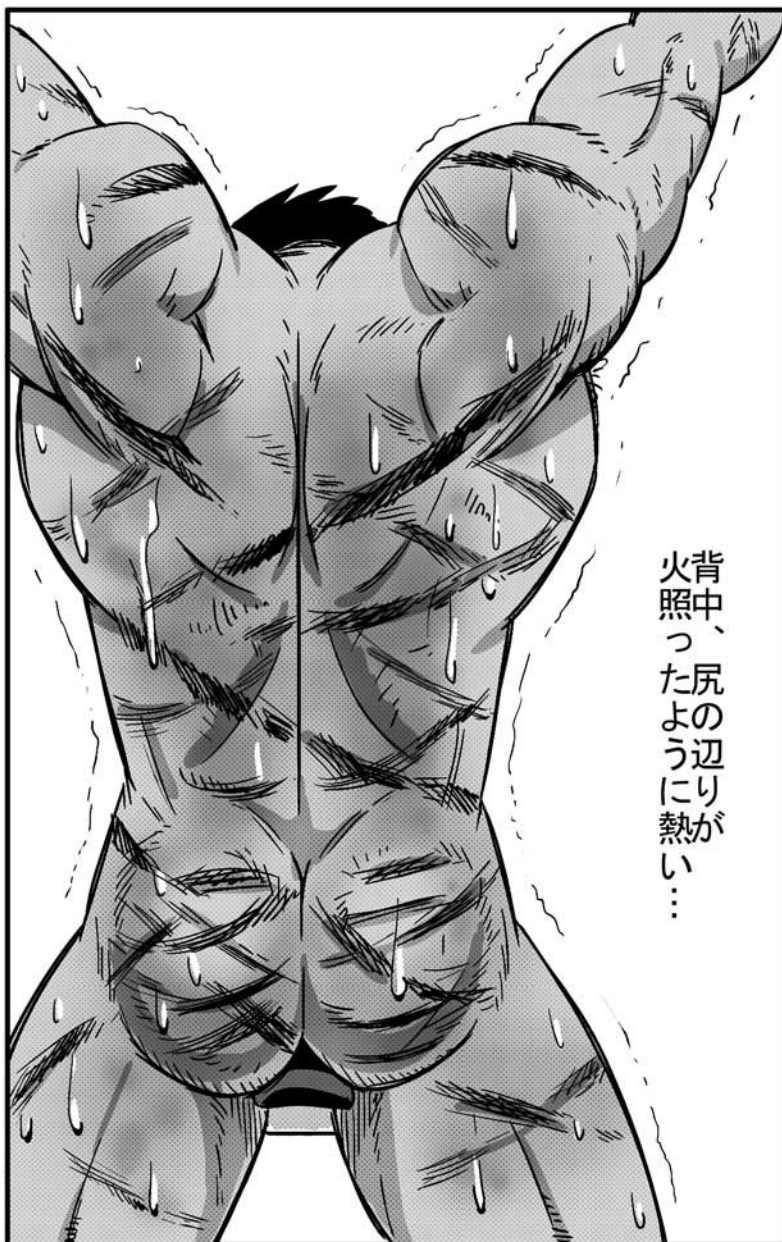




誰かが工具箱を



火照った尻の辺りに熱が



うっ!



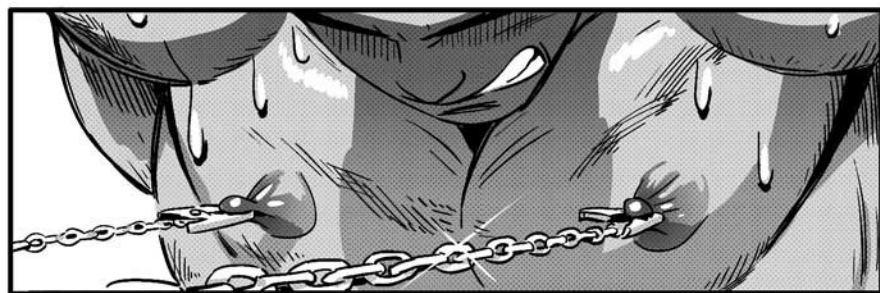
取使挟電
りうむ線
出ワたを
しニめ
た口に
を



ギッ



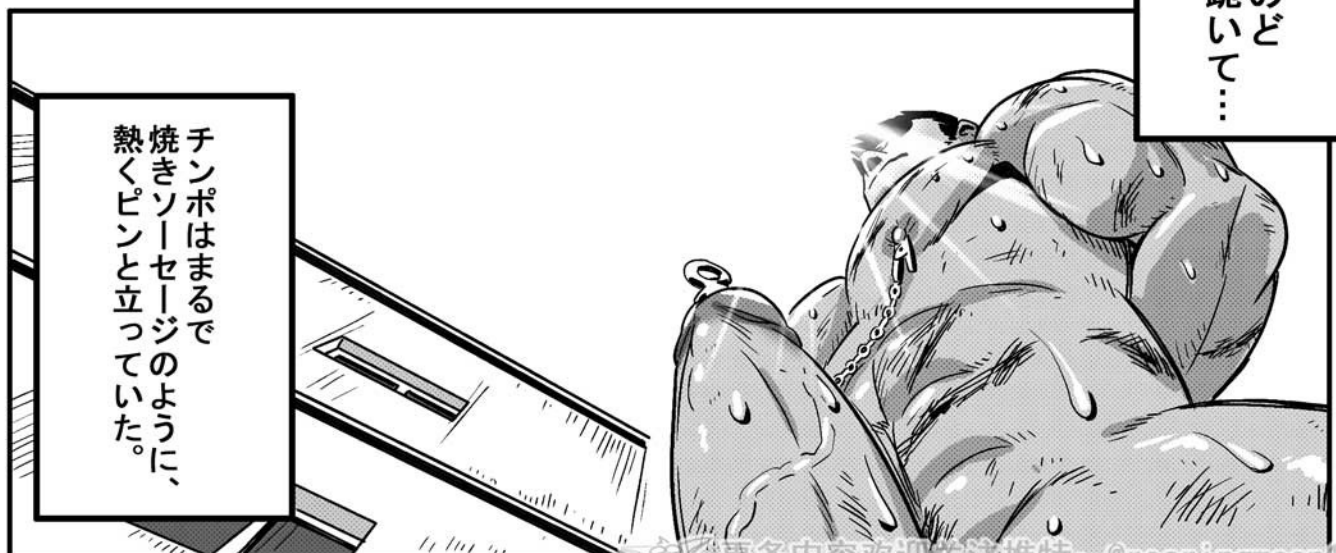
走痛刺引
るみすっ
！がよ張
体うと
中なと
に

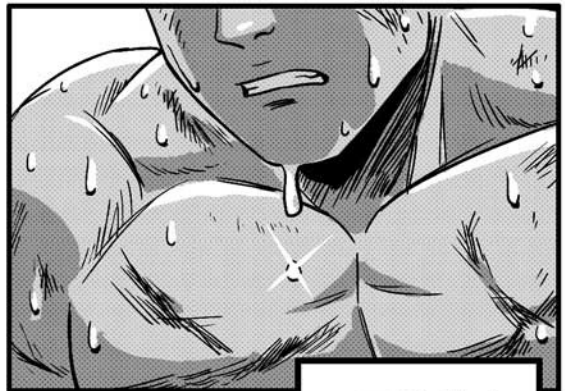


頭引
を上げん
つてじゃ
ねえ！？

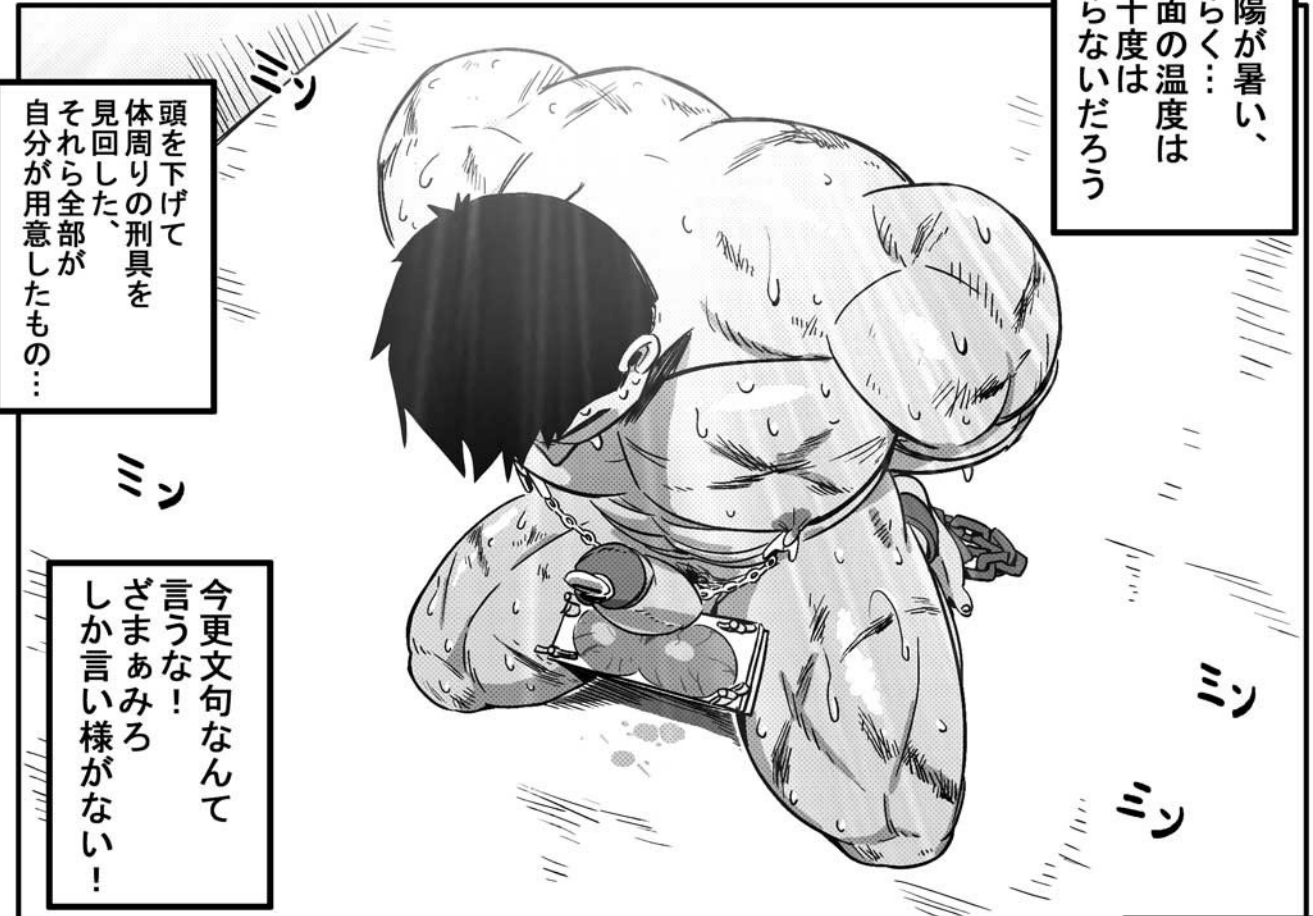
はい！





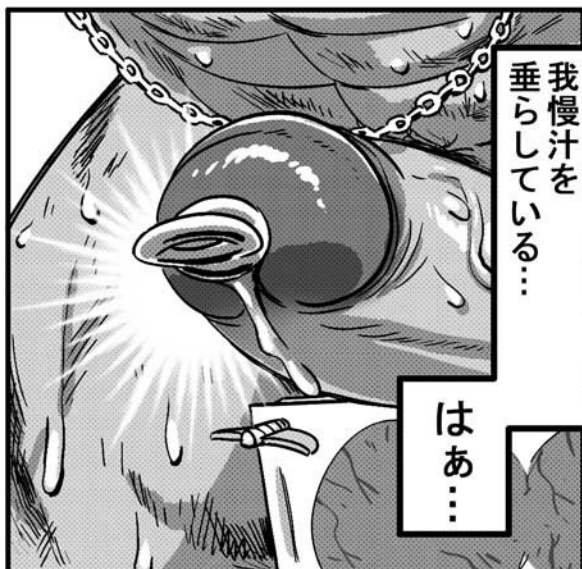


太陽が暑い、
恐らく…
地面の温度は
五十度は
下らないだろう



頭を下げて
体周りの刑具を
見回した、
それら全部が
自分が用意したもの…

今更文句なんて
言うな！
ざまあみろ
しか言い様がない！

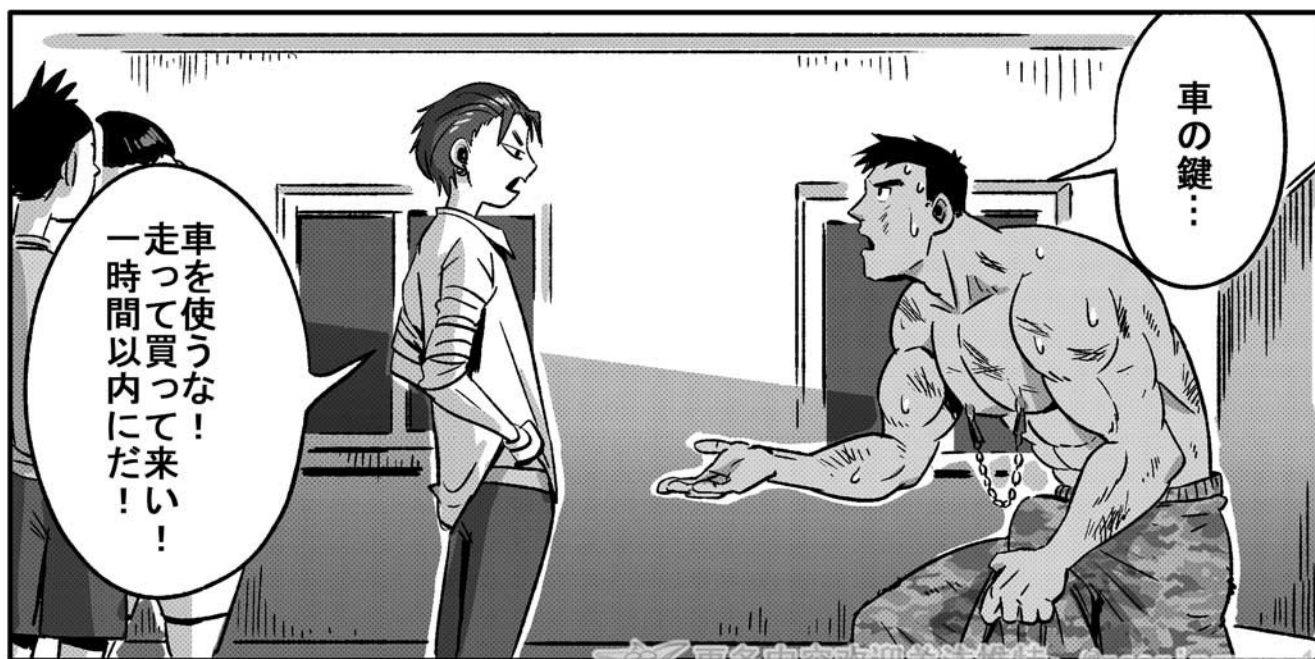


でもこうするしか
興奮を感じない、
肉棒も嬉しいあまりに
我慢汁を
垂らしている…

はあ…



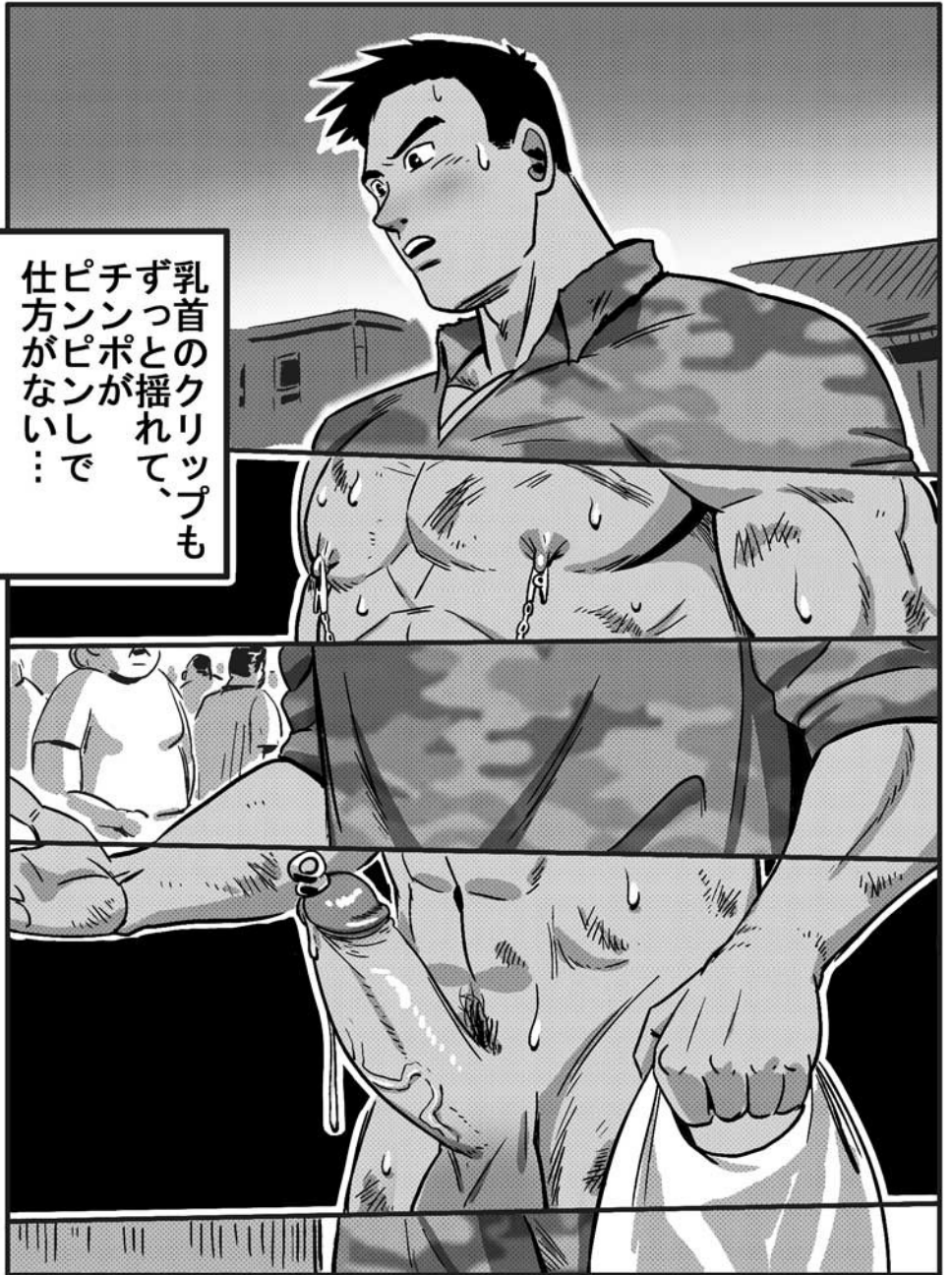
何でこんな生活を
好きになったのか…
自分でも呆れる







乳首のクリップも
ずっと揺れて、
チンポがピン
ピンと揺れて、
仕方がない！







そして深夜の
一時か二時ごろまで
続いた

寝る前は、
ごセンチ四方の檻に
押し込まれた

この檻を
作ったばかりの
頃も入ってはみたが、
小さすぎて
どうしても方脚が
外に漏れる…



チンボが
隙間に通した
瞬間…

くせえなあ！
おい！
早く中に
押し戻せ！

尿と血が
混ざって
漏れ出した…

DRIP
DRIP







食後は散歩…

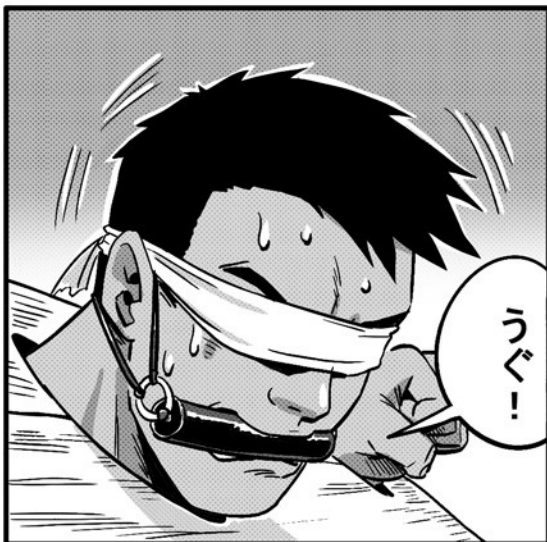


二日目、
寝坊を
したガキどもは
昼後に
なるまで
寝た。



モタモタするな！
早よ歩け！

あちいのよ、
クソが！



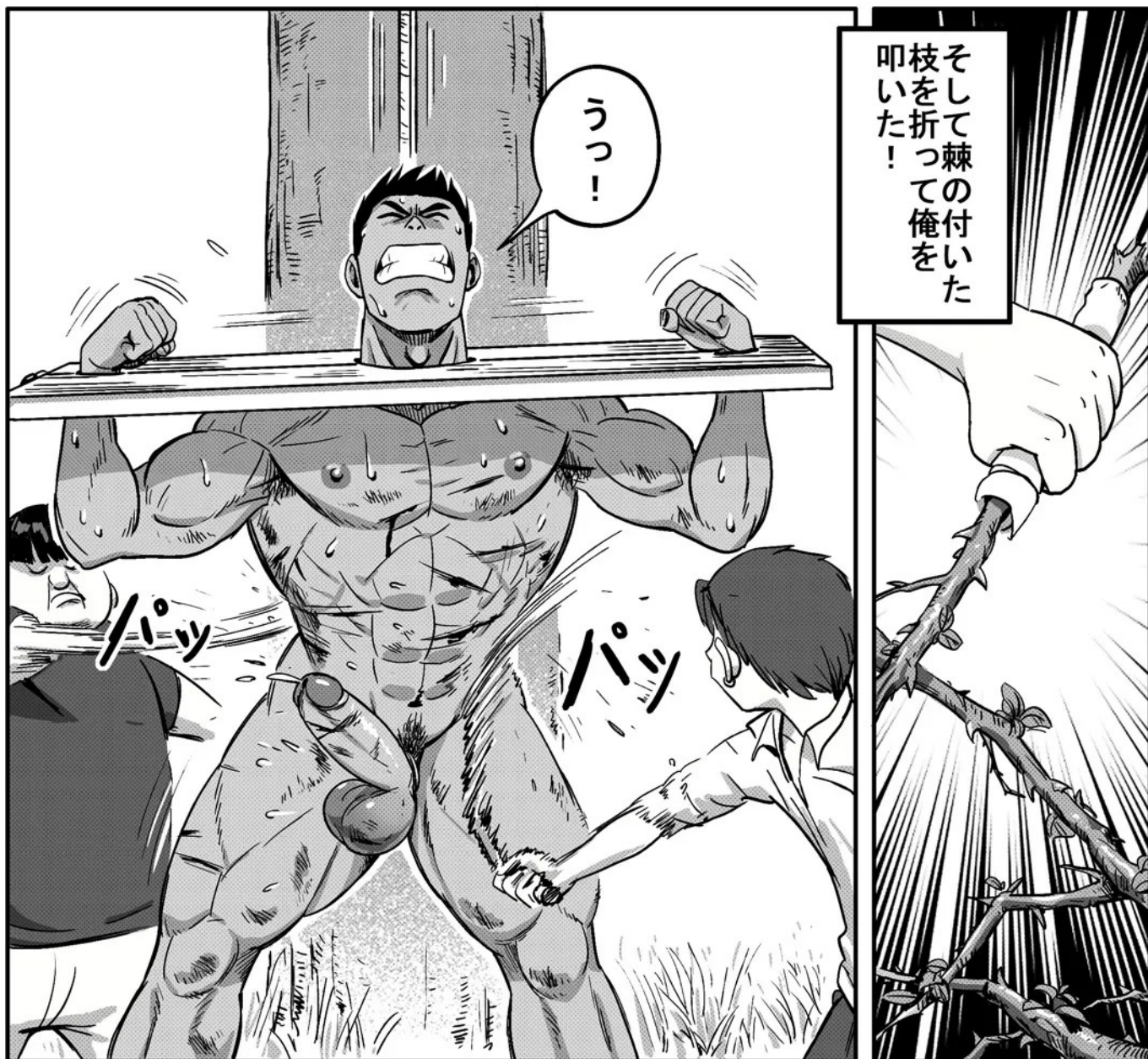
木に吊る。

縄を結びつけた
アナルフックを
尻に押し込まれて

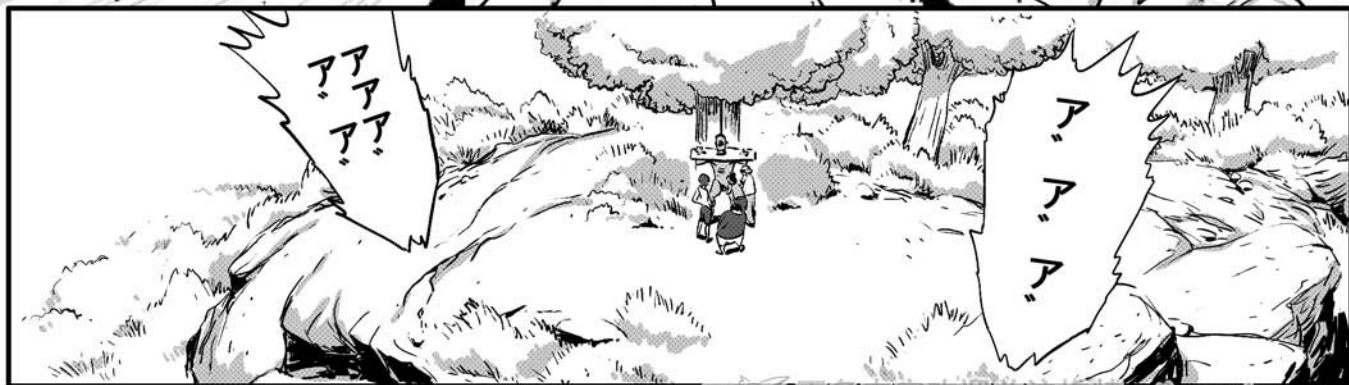
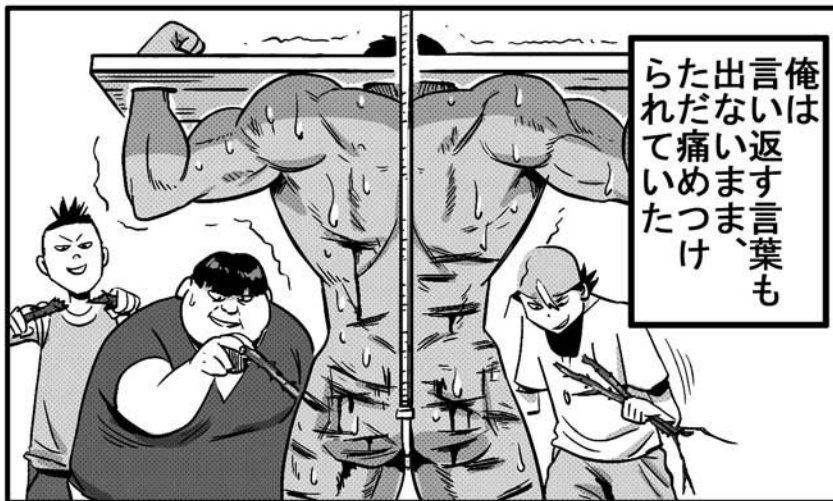
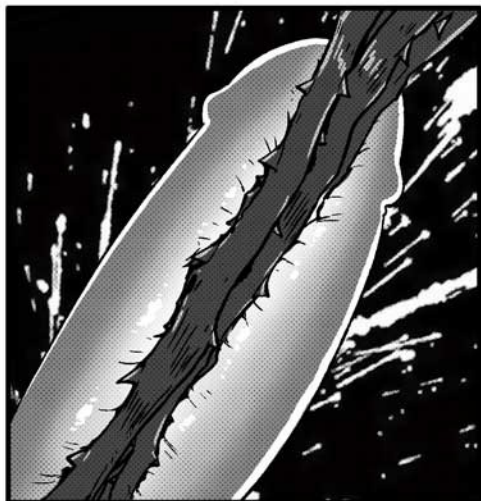
ぶる
ぶる



やむ得ず俺は尻を上げ、
つま先立ちで
ぎりぎりバランスを
取れた...







疲れたら、
全員が樹の下で
一休み

A black and white manga-style illustration showing three characters resting on the ground under a large tree. The character on the left is a man with spiky hair, wearing a tank top and shorts, sitting up and looking tired. The middle character is a man with a bowl cut, wearing a collared shirt and shorts, sitting up and looking towards the right. The character on the right is a larger man with a flat cap, wearing a t-shirt and shorts, lying down with his head back and eyes closed. The background shows the trunk of a large tree and some foliage.

か焼じ太縛俺
らかり陽りを
なれじのつ石
あてり下けに
！ でて

ざらざら...

おまえも一口だあ?

え?

ではい一口

枷に遮られ
見えない、
突然胸のところが
激痛が走った

ジー

吸い殻で乳首に
押しつけて
いただったか！

ジー

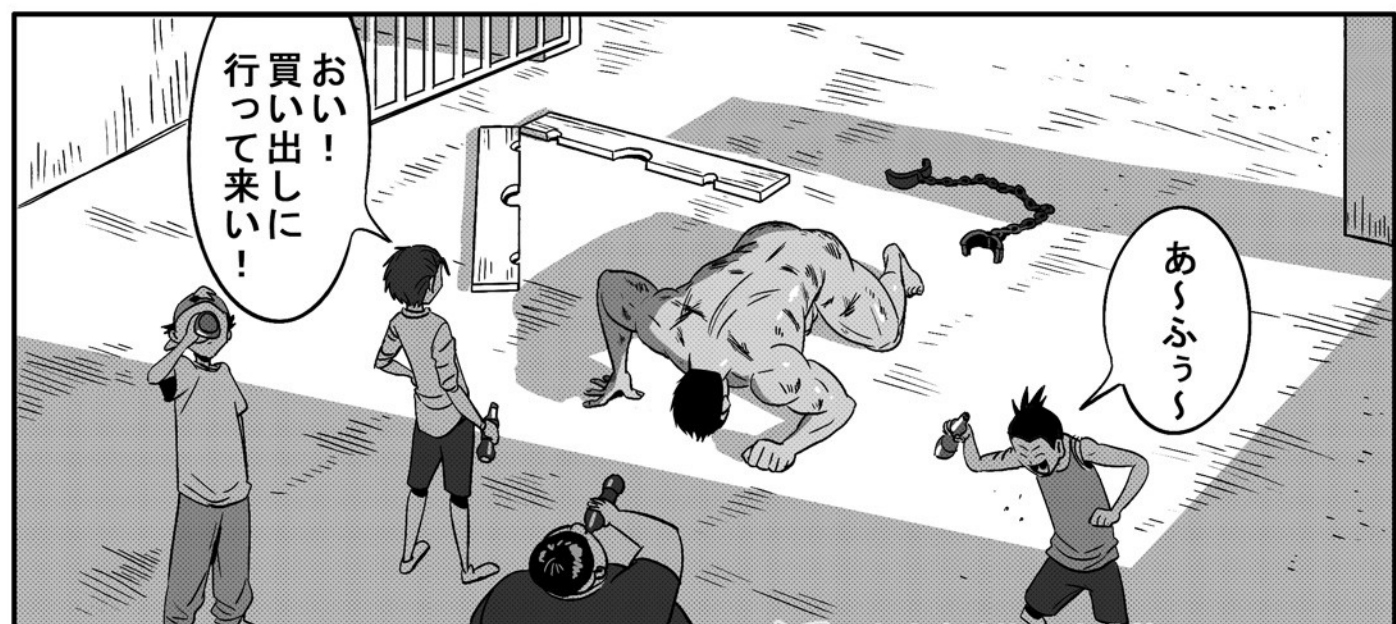
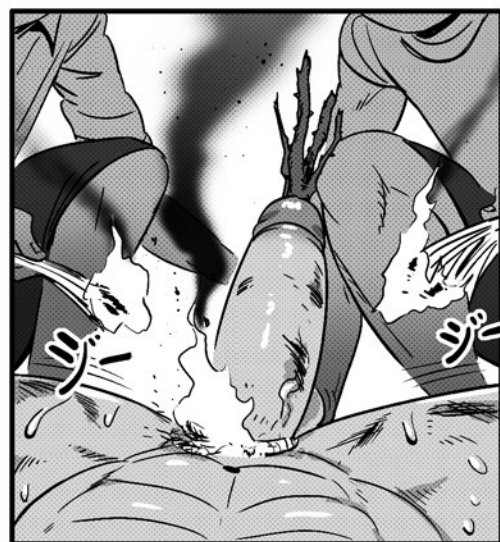
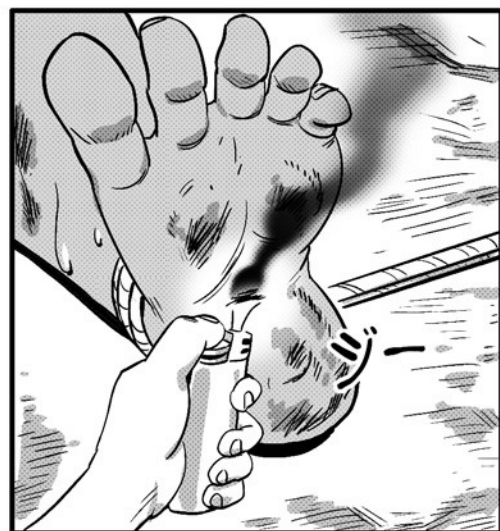
ジー

もたは
ライターを出して
俺のチン毛を
燃やした…

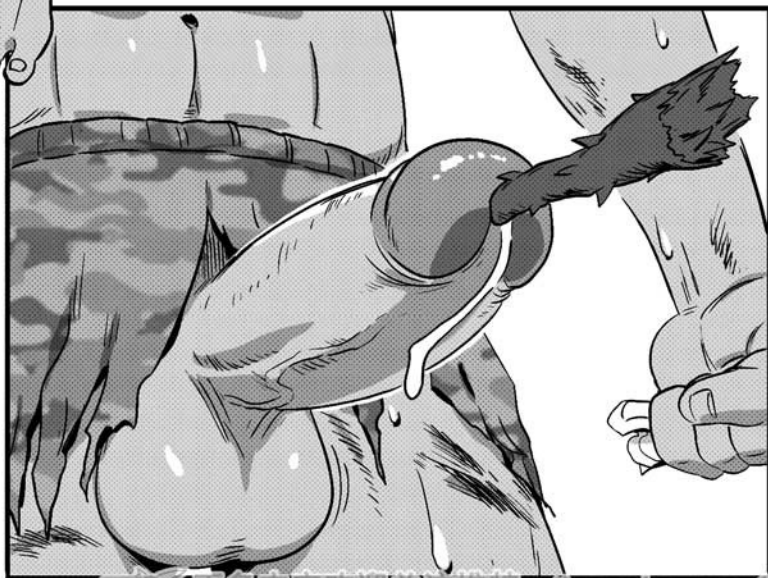
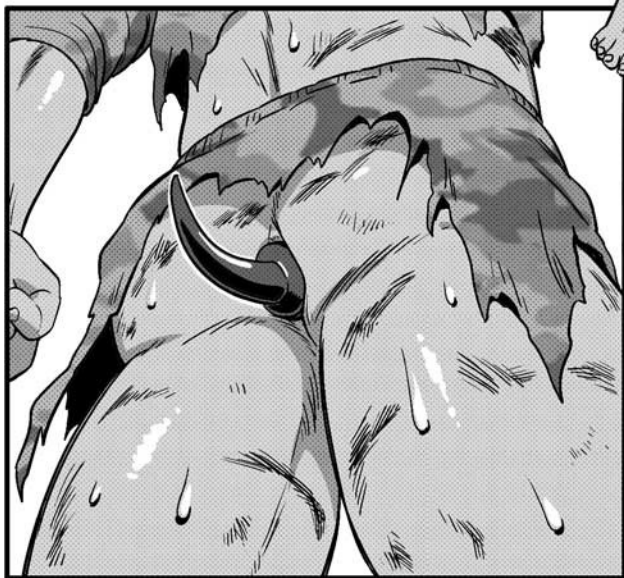
山の上でもう
何時間も
遊ばれていた

枷のせいで体が
何をされていたか
全然わからない…

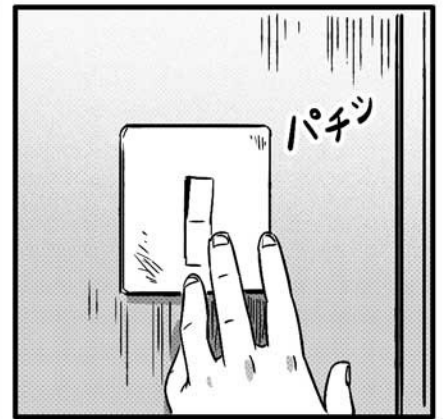
下半身はただただ
焼けるような痛みが
伝わって来る！











つま先立ちしか
許されない俺は

ぐにゅ
ぐにゅ

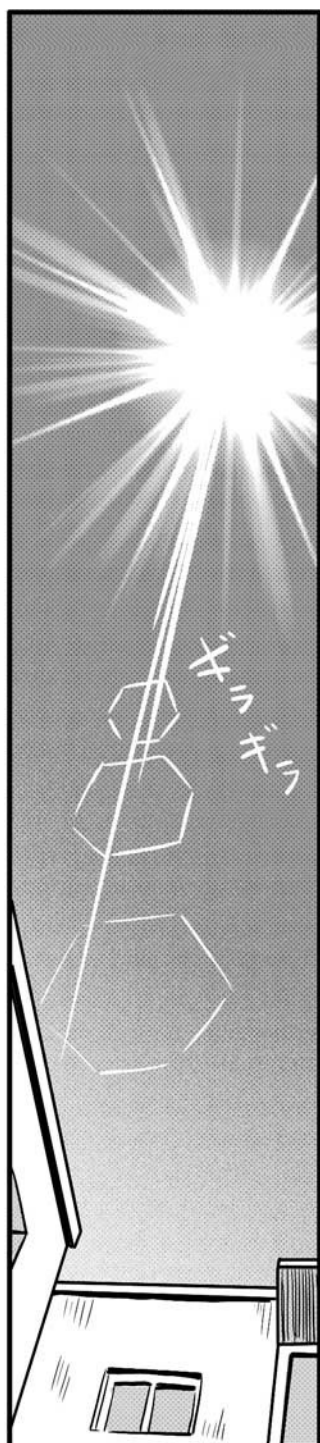
陰部と脚の力を
交互に緩め、
一晩中そのの
繰り返しで：

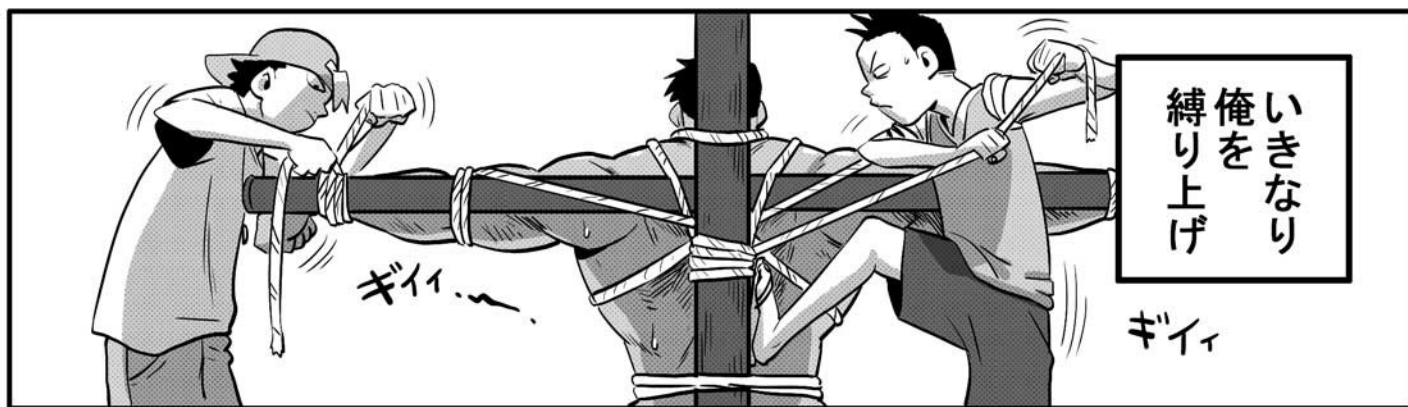
ぐにゅ
ぐにゅ

脛がますます
重くなっていく

ウツ…











動いて見た
らちゃんと動く、
どうやらあの音は
縄の方だった。

改めてレンガ
の個のまま俺を
縛った。

パチッと、
俺の意識は
そこで
途切れた。



どれだけ時間が
経っただろう！
水をぶっかけて
俺を起こした。



これで
塞ごう！

うえッ
キシヨツ！



やっと枝を
取り出してくれた、
広げた鈴口か
ら血が流れだした。

五メートルほど長さの電線を取り出し、

誰がいちばん鈴口に押し込められるかという競争をした。

俺の言葉なんて顧みず、ひたすら押し込んだ。

無理だ！

これは壊れる、壊れちゃう！

がああ！

押し込む時はまた良かった、取り出し際こそ加減がない！

最後に勝ったのが東の五メートル。

ビリはミナミの3.8メートル。

ホント使えねえな！クソが！



普段も自分で
唐辛子液を
注ぎ込むことはあるが、
生のやつほど
痛みはなかった。

昨日買った
唐辛子を
中に詰んだ！

それでも
気が済まず



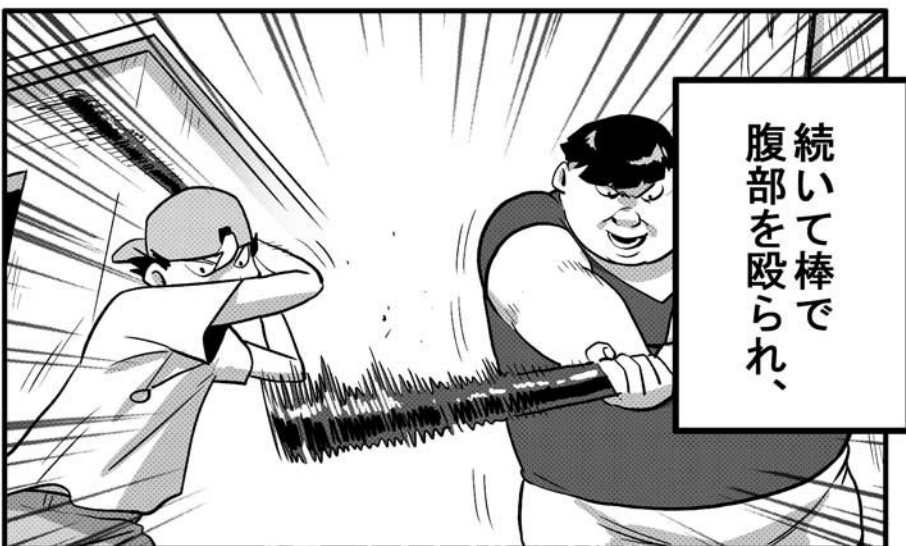
詰んでまたは
尿道プラグで
潰れず。

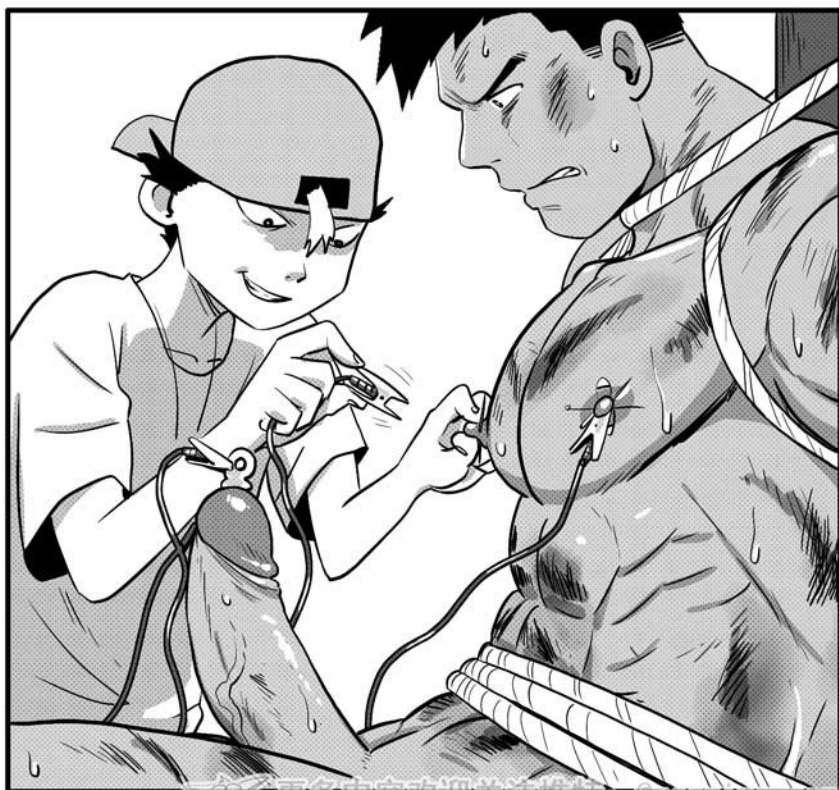
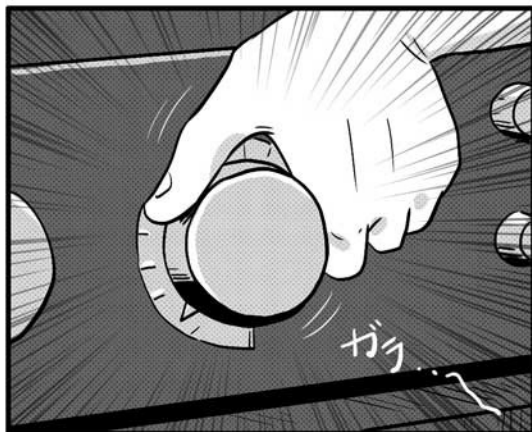
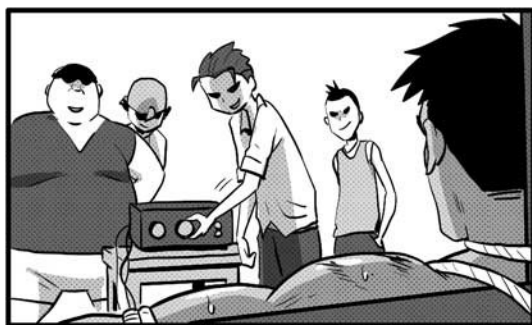
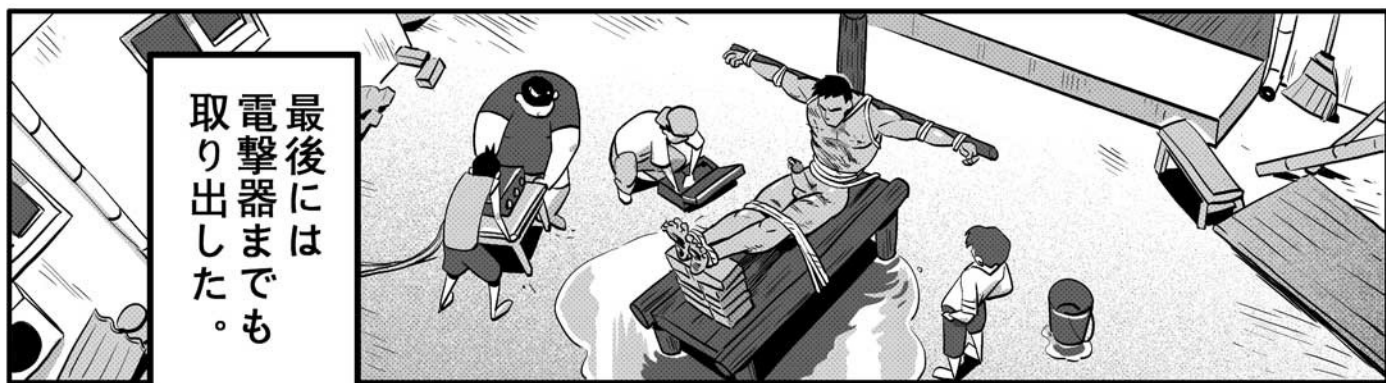
カアアアア

グチャッ

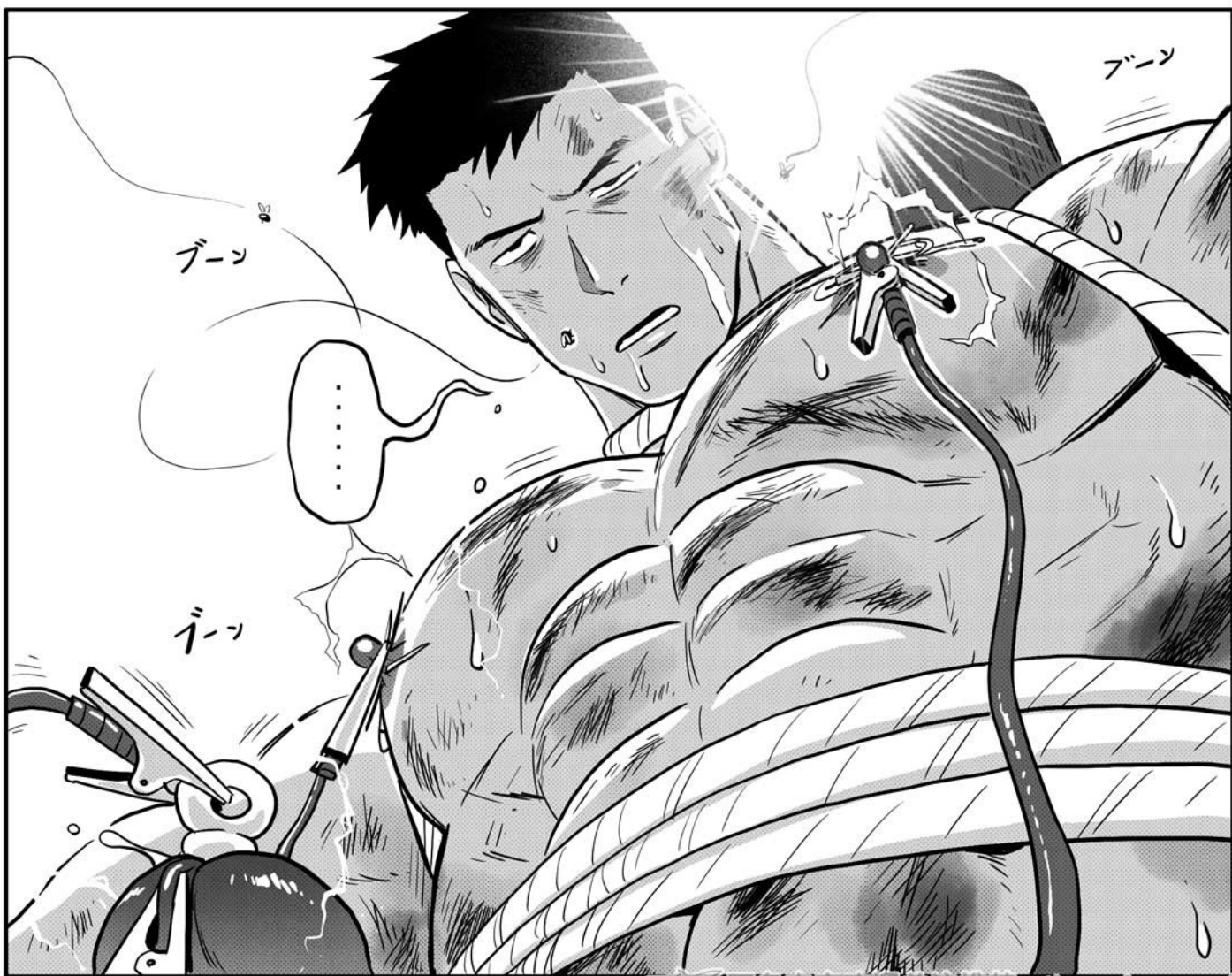
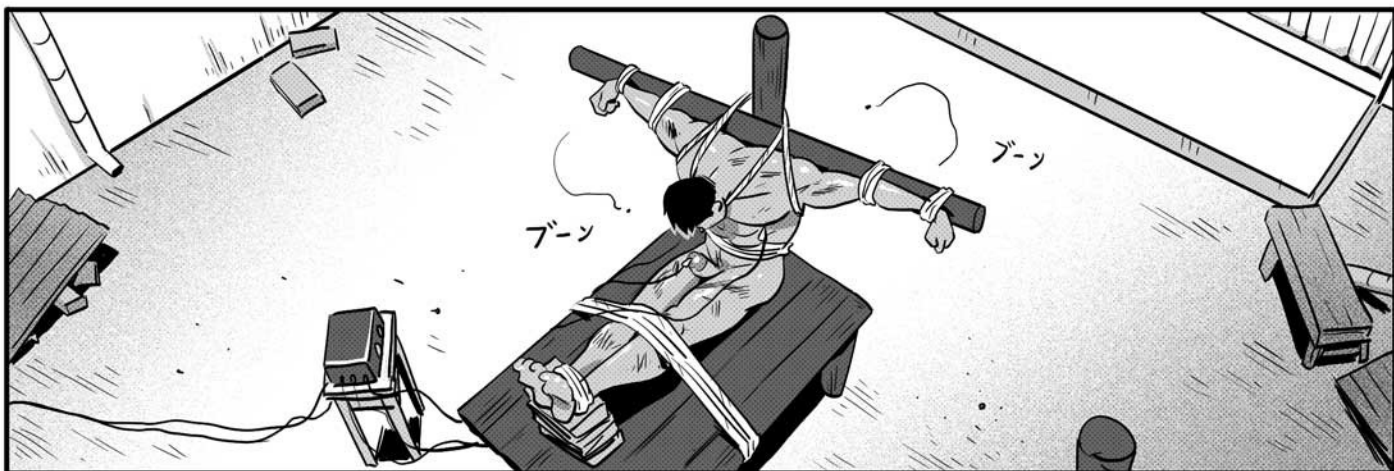
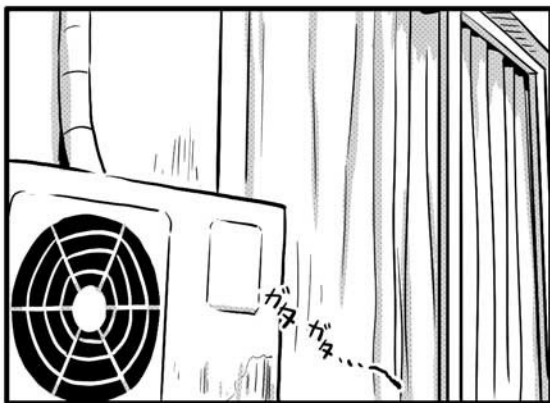
グチャ

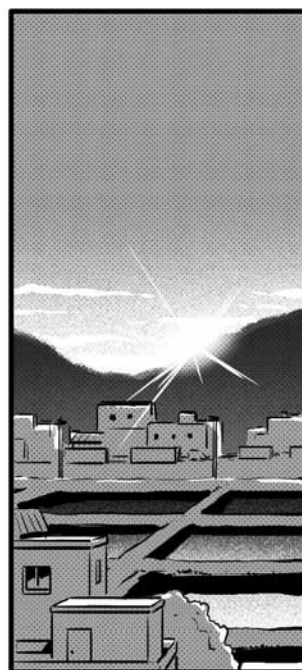
火が着いた
かのうように
痛い……

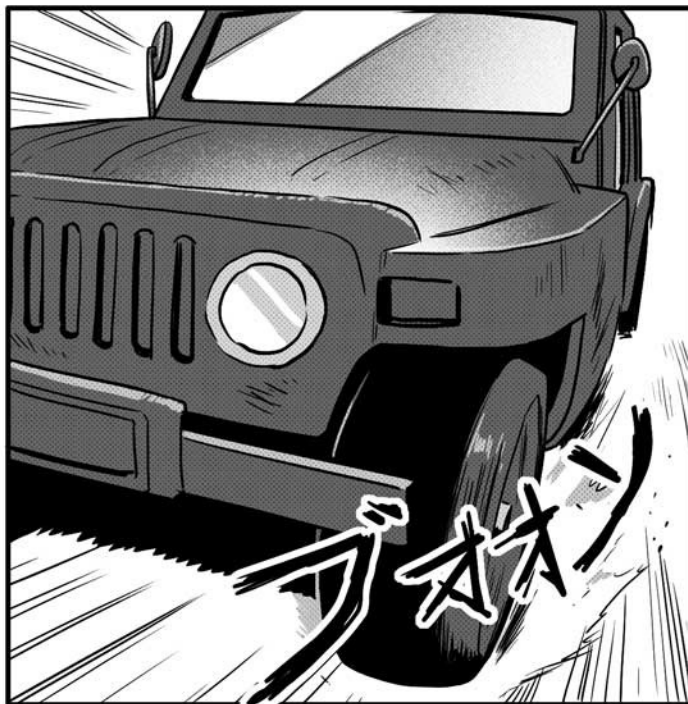


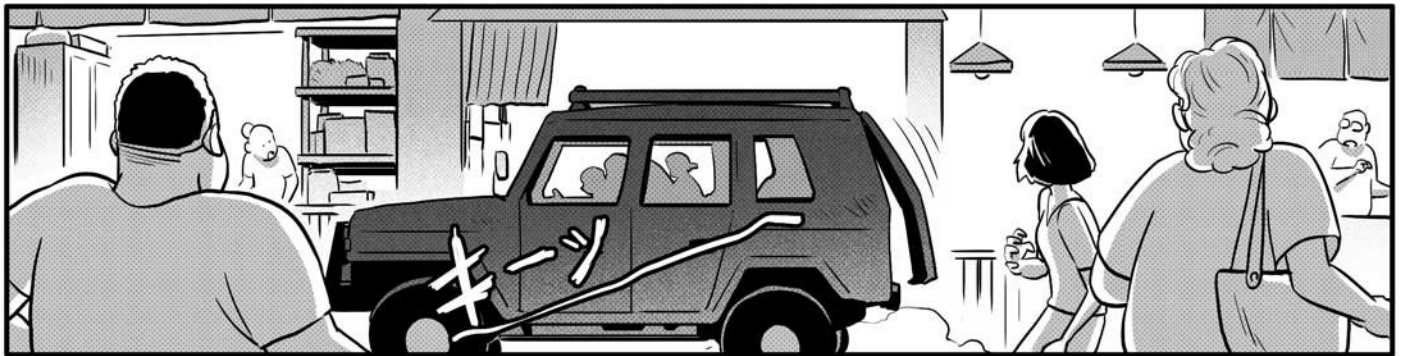


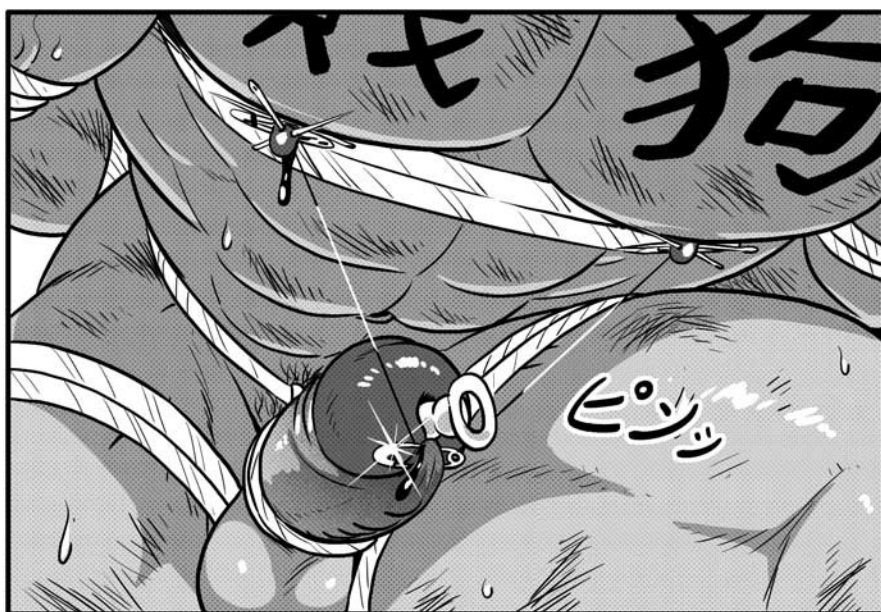
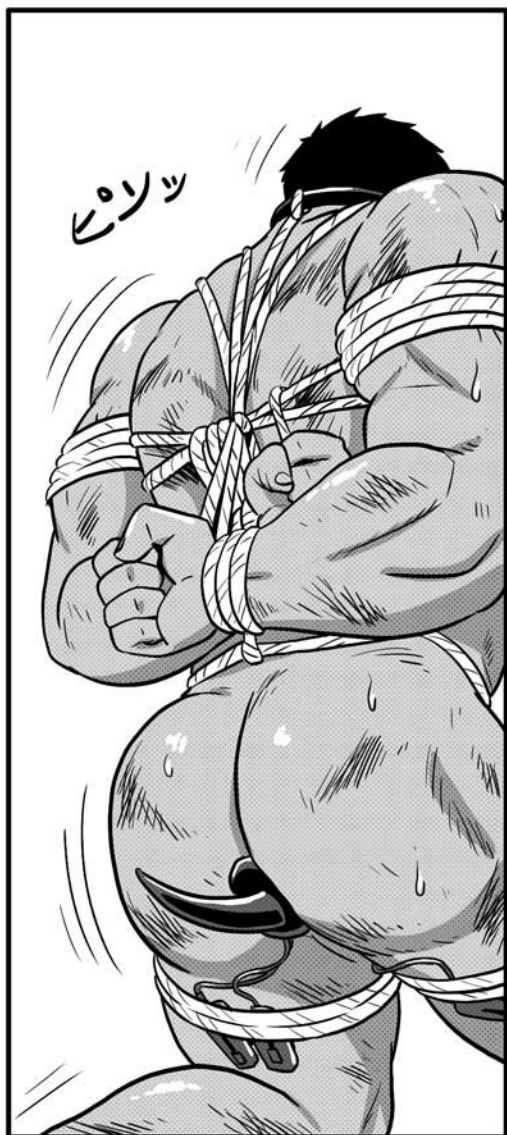






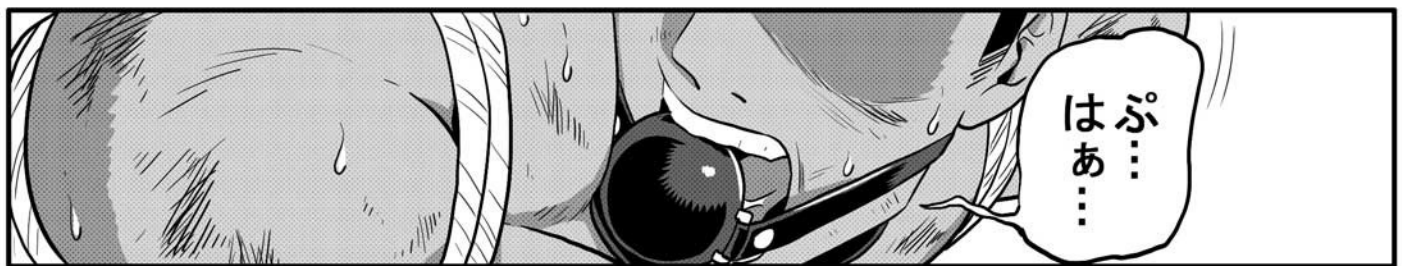
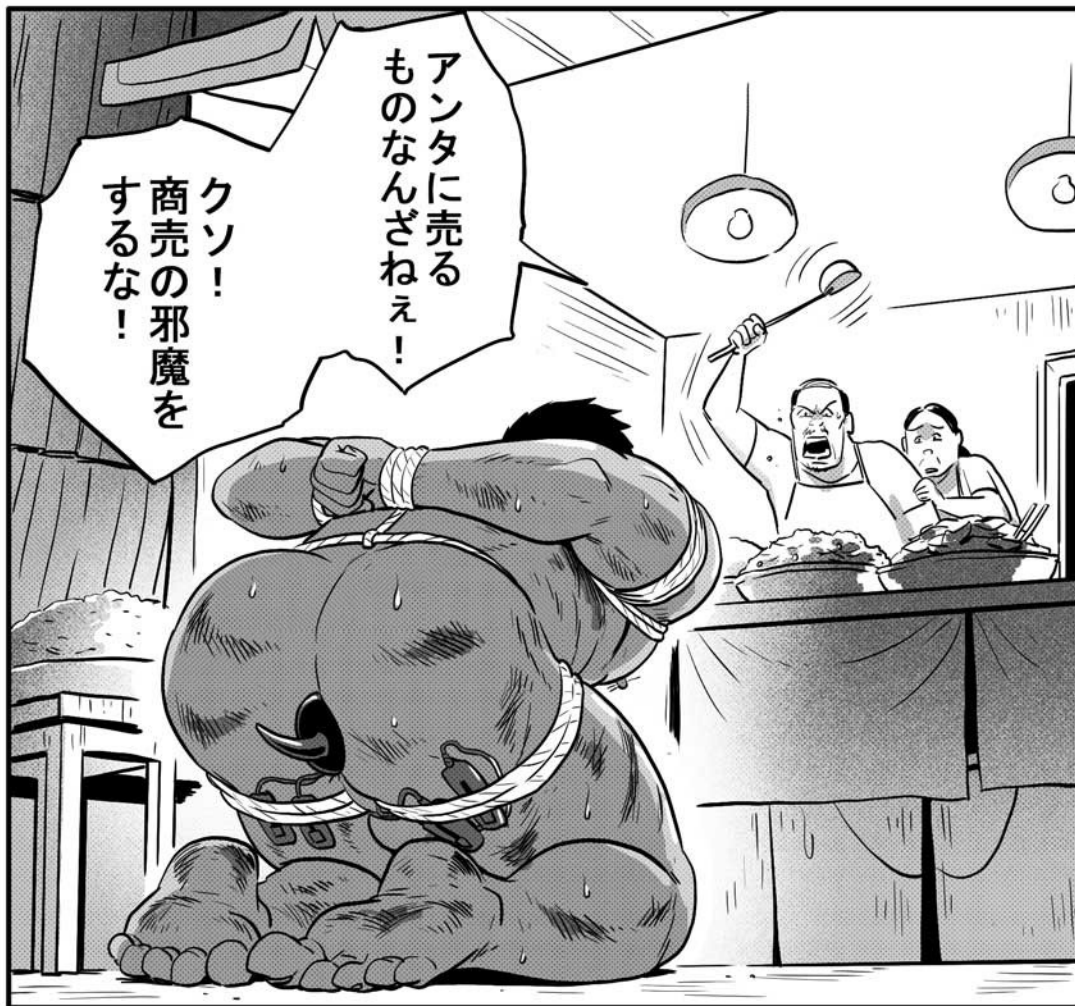




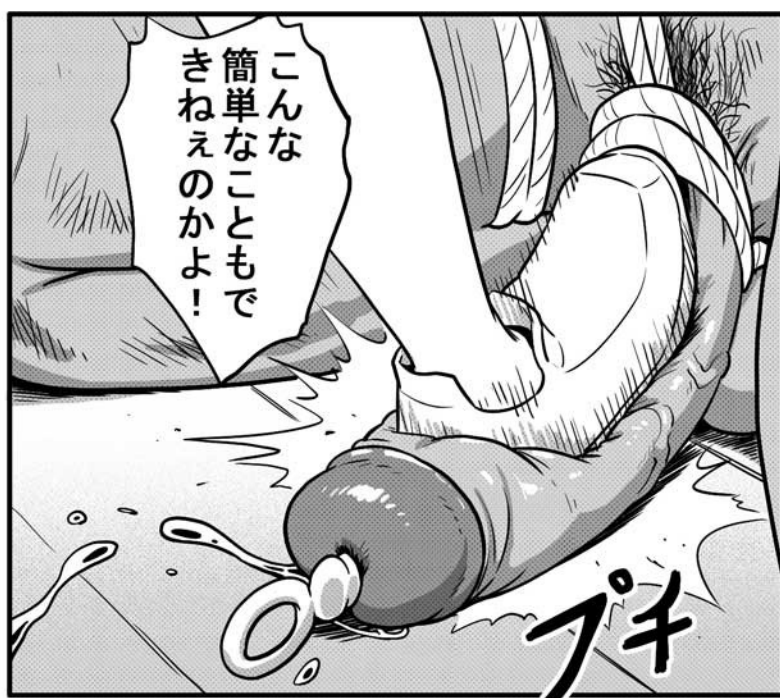


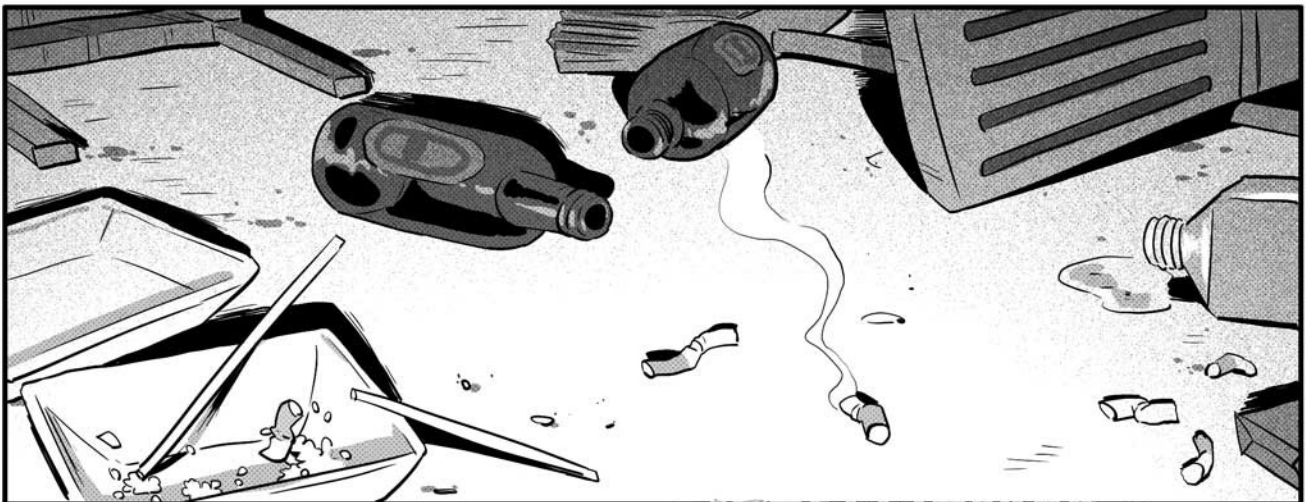
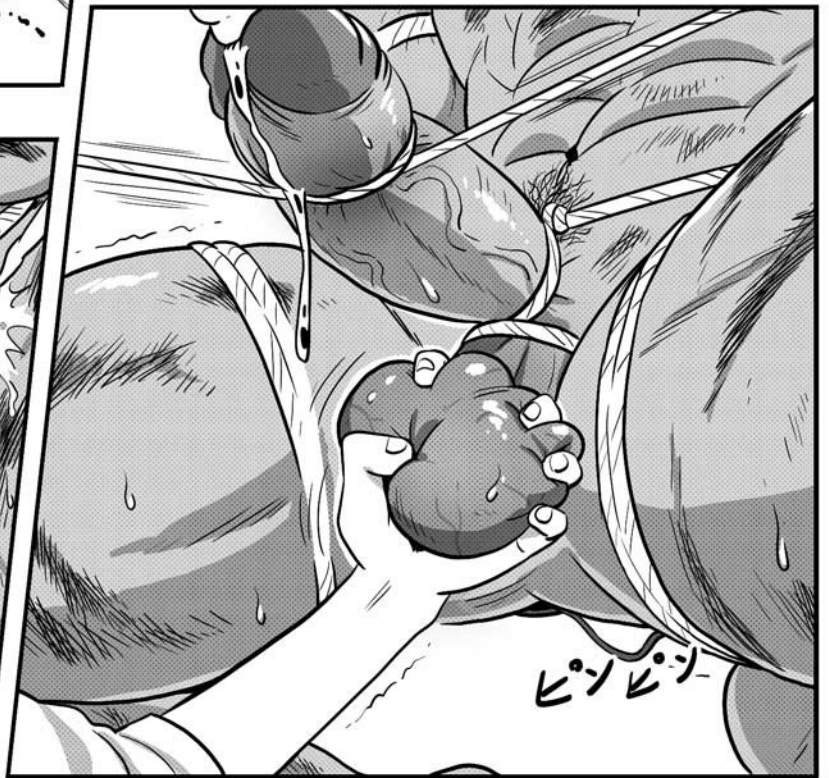




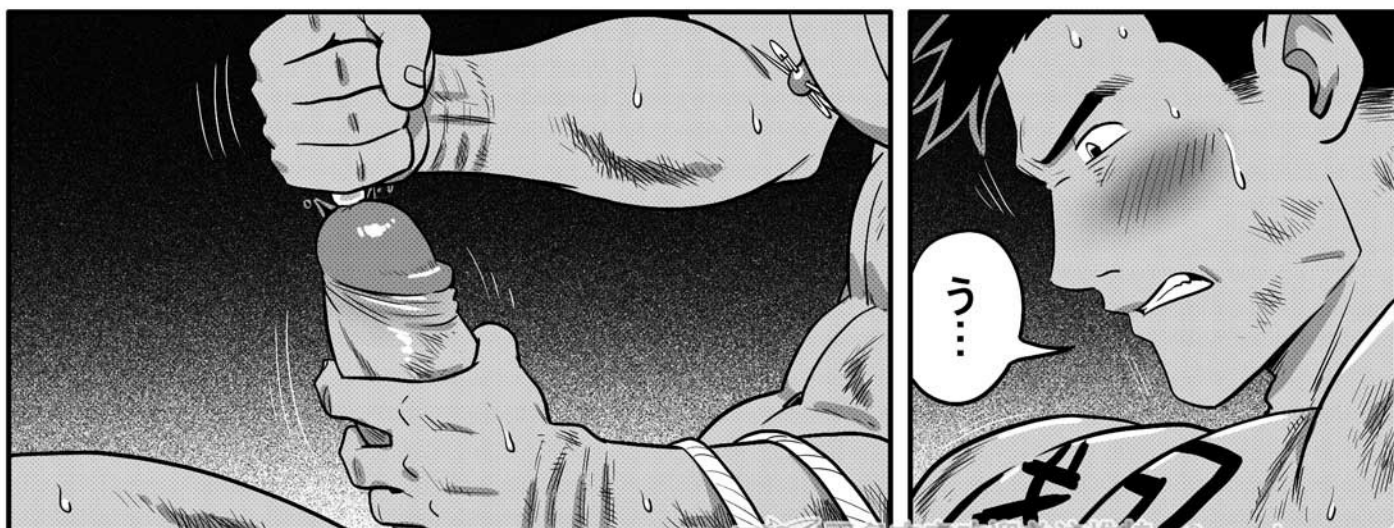


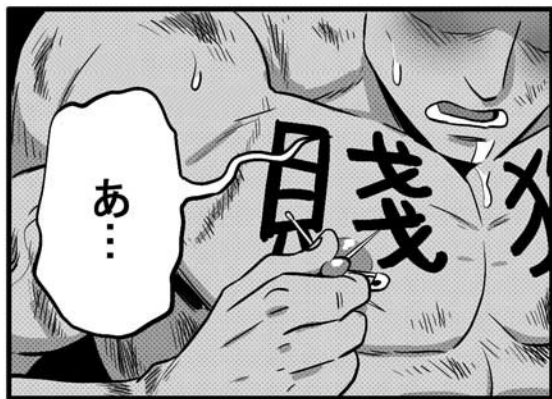




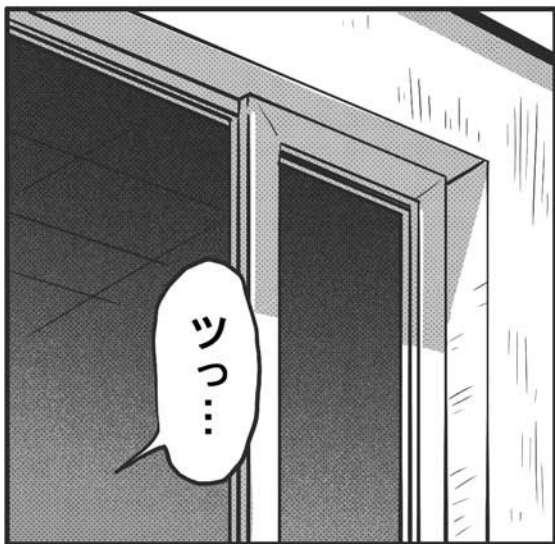
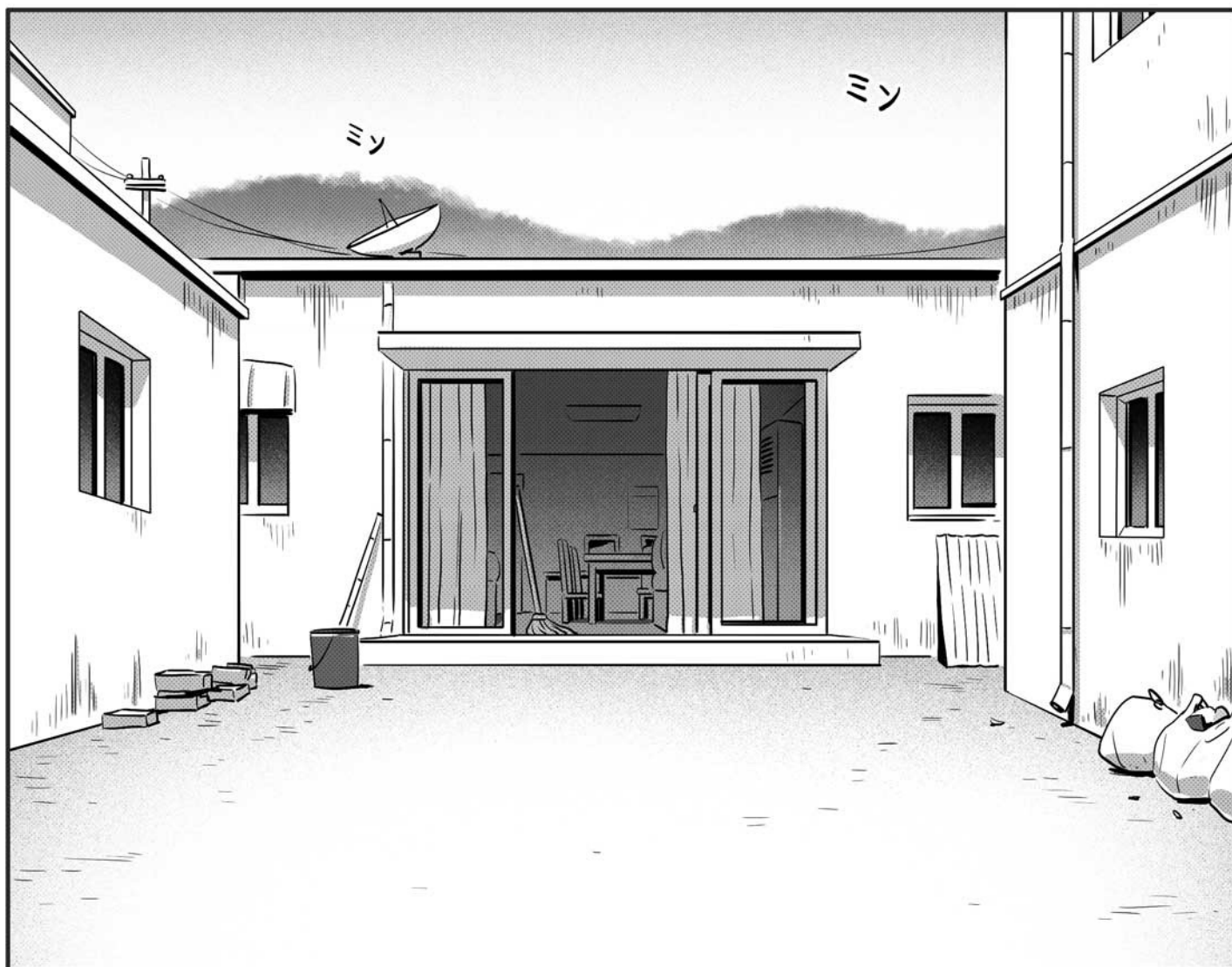
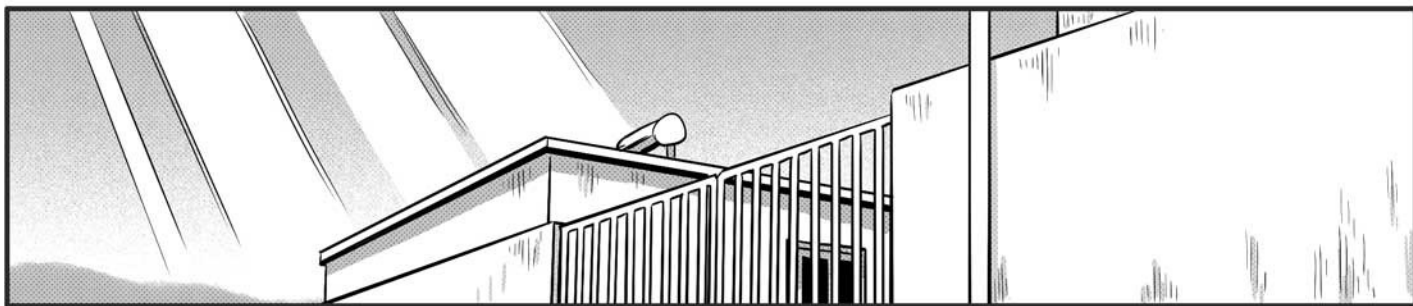
















我们到了，你人哪儿呢？

贱狗王勇 2007/7/22 10:24:50

贱狗在火车站西出口

多弑神... 2007/7/26 14:00:47

贱逼，这次玩的爽不？

多弑神... 2007/7/26 14:01:26

过两个月十一放假，我们再去玩你？这次收你五千

*あと二ヶ月で休みだからよ、
またお前に付き合ったらどうよ？
今度の料金は五千元なあ

ビービー
ビービー



好，随时欢迎主人_

*はい、お待ちしております。

...そんな時は
そんな時は

关闭(C)

发送(S)

本篇完

更多内容欢迎关注推特: @roaringmoon1



Hi～どうも、roaringmoonと申します、この漫画を支援くださってくれたみんな、本当にありがとうございます！

筋肉マゾ王勇と四人組の●学性の物語はこれで一段落、もし反響が良かったら、次は王勇とその牛の兄貴が工事現場に居た物語を描きますので、本編を描く前も、王勇先生本人を連絡して、漫画の二次創作の許可をもらいました、皆さんも時間があつたらぜひぜひ、先生の素晴らしい原作を読んでいてください！一押しです！

最後に、前回同様～

王勇みたいな筋肉マゾさんがネタ提供くれるのを大歓迎ですから！ぜひメールして声掛けてください！